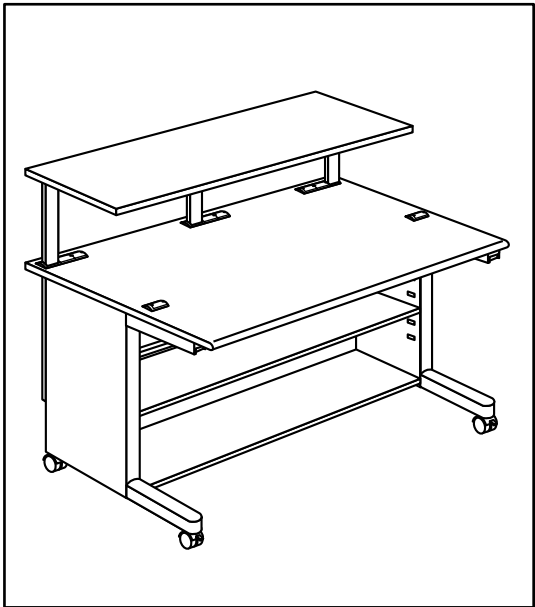


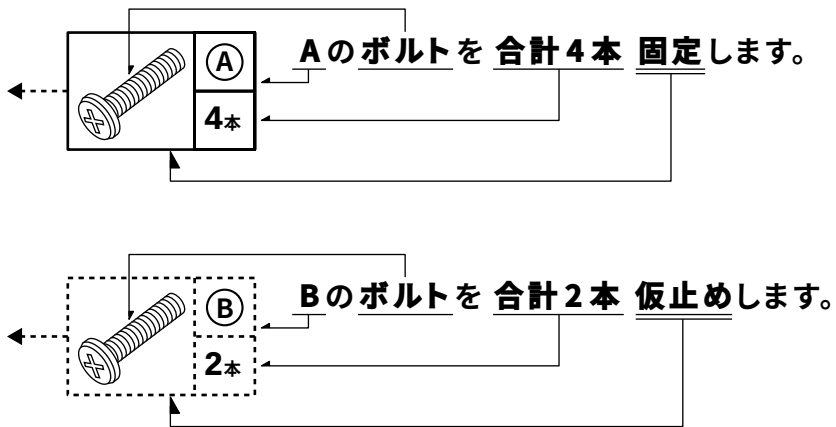
パソコンデスクオプション
取扱い及び組立説明書

TX-124
TX-144
TX-164
TX-184

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を組み立てる前に、必ず「組立使用上の注意」をご覧ください、正しく組立、ご使用されますようお願い致します。



組立図使用マーク一覧



付属工具を使つての組立があります。

2人以上で作業を行ってください。

左右共通の部材を使用します。

右用と左用とで部材の形状が異なります。組立ての際に取付け間違いのないようご注意ください。

組立・使用上の注意

- 注意マーク……この表示の欄は「軽傷を負う又は、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意ください。
- 警告マーク……この表示の欄は「死亡又は、重傷などを負う可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意ください。

- 必ず軍手や手袋などで手を保護してから組立を行って下さい。
- 組立の際は手や指を挟まないように注意しストーブや、コンロなど火気のある場所での組立は絶対に避けて下さい。
- 組立手順に従って指定された位置のボルトは確実に止め、組み立てて下さい。※ネジが緩いと危険です。
- 組立時は床などを傷つけないよう十分ご注意ください。
- テーブルや棚の上に立つと危険です。絶対に上に乗らないで下さい。
- ストーブやコンロなど、火気のある場所ではそれらの器具から十分に離れた場所でお使い下さい。
- 必ず屋内で使用し、水のかかる場所や直射日光のあたる場所での使用は避けて下さい。
- 使用中に組み付けたボルトが緩んできた場合は再度、組立手順にもとづき、増締めを行って下さい。（その際、天板・棚板等に載せているすべての機器を取り外して行って下さい。）
- ベンジン・酸・熱湯・シンナー・ミガキ粉・石油などでのお手入れは避けて下さい。必ず強く絞ったそうきんなどで、拭くなどして下さい。
- コンセント付きのものは容量を超えて使用しないで下さい。感電や火災の原因となります。

部品一覧表

※組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認ください。

品番	部材外観	品名 数量	品番	部材外観	品名 数量
①		棚板 1枚	Ⓐ		ボルト (M6×35) 6本
②		オーバートップ フレーム 3本	Ⓑ		ボルト (M6×15) 6本

組立説明

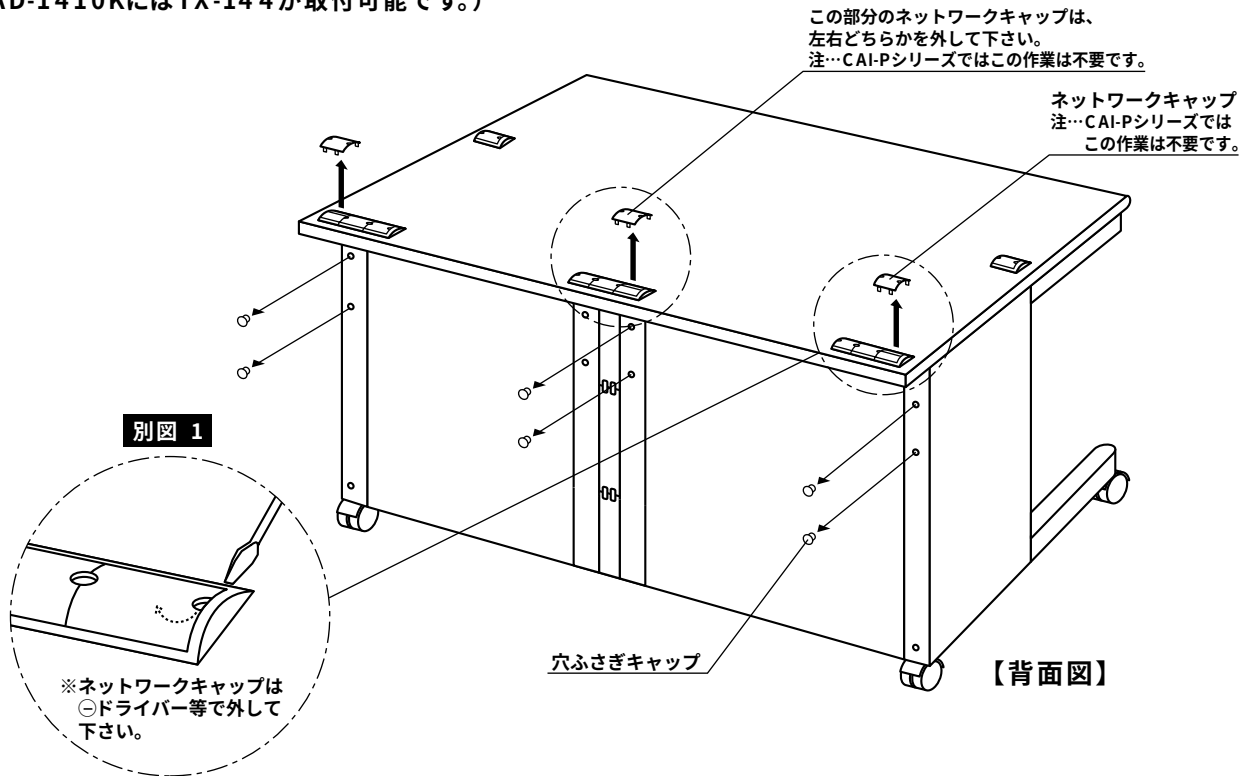
※本製品はロックダウン式家具です。必ず組立手順、組立上の注意事項等の指示に従って組立を行って下さい。

使用する工具及び、ご用意いただくもの……………

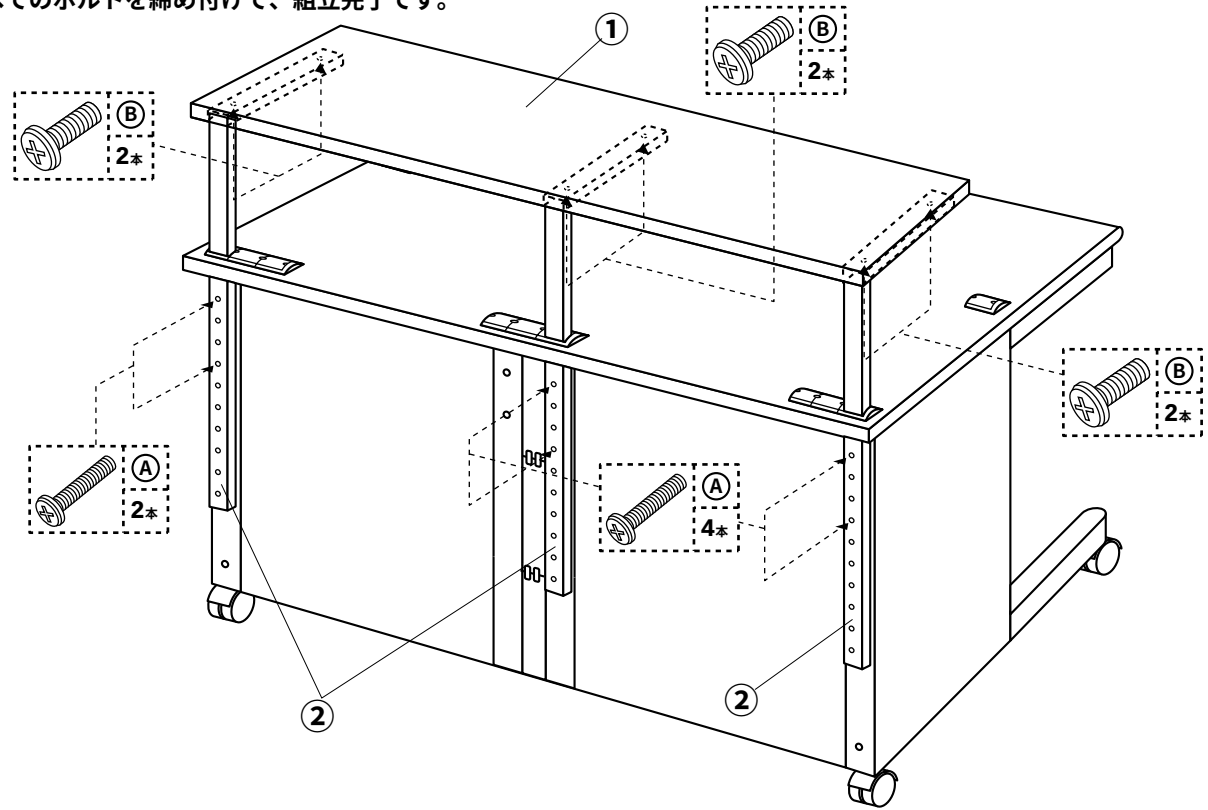
軍手

ドライバー

- 1** I. オーバートップフレーム①を取り付ける前に、天板後側のネットワークキャップ(CXシリーズには、天板後側にネットワークキャップは無く、CAI-Pシリーズではネットワークキャップを使用しません。)と支柱・バックパネルに取り付けている穴ふさぎキャップを外します。(別図1参照)
- ※CAD-1410Kへオーバートップの取り付けを行う際は、次項2へ進む前に、注の項をご覧下さい。
(CAD-1410KにはTX-144が取付可能です。)

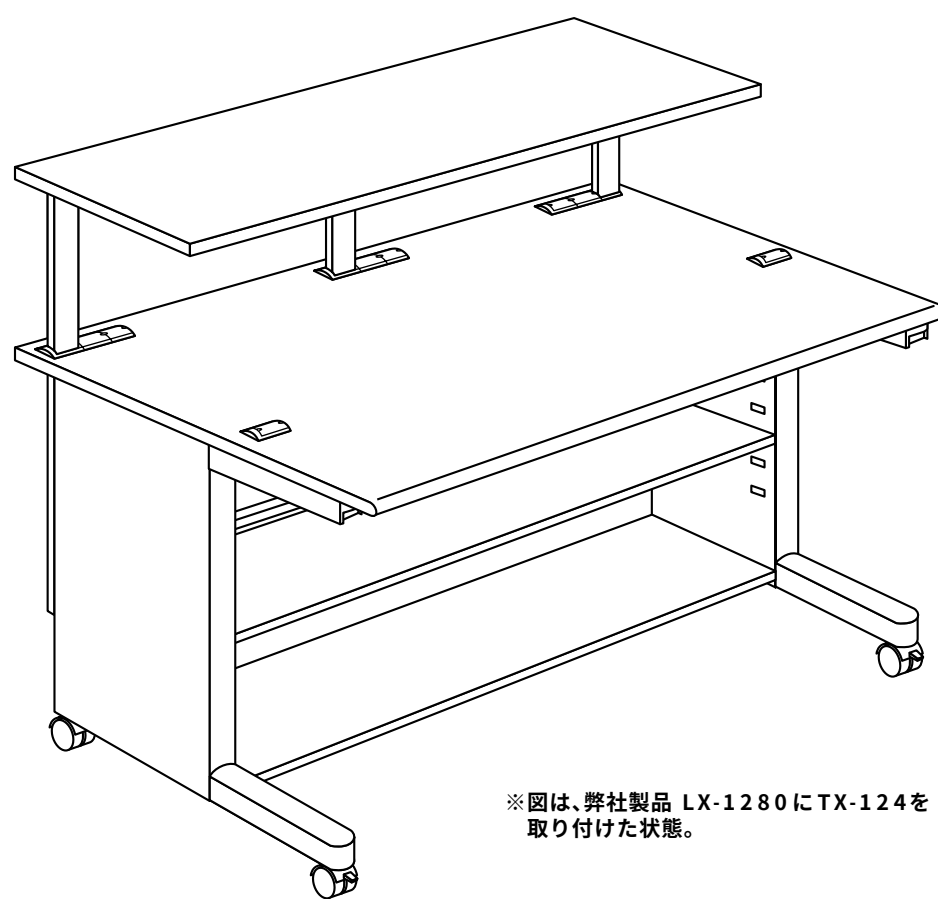


- 2** I. オーバートップフレーム②をお好みの高さに、ボルトAで取り付け(仮締め)ます。
注…「CXシリーズ」「CAI-Pシリーズ」では、オーバートップフレーム②を、ネットワークキャップを通さずデスク背面へ直接取り付けます。
- II. 棚板①を図の様にボルトBで取り付け(仮締め)ます。
- III. すべてのボルトを締め付けて、組立完了です。



- 注** I. CAD-1410Kにオーバートップを取り付ける際は、図1の斜線の位置のネットワークキャップを外します。
- II. CAD-1410Kの組立説明書の後脚取り付けの行程を参照し、組立と逆の手順で後脚を取り外します。
- ⚠後脚取り外し作業の際は、デスク上の使用機器等はすべて取り去り、デスク本体の転倒に十分ご注意下さい。
- III. 本組立説明書2項の手順に序いオーバートップを取り付けます。
- IV. CAD-1410Kの組立説明書を参照し、IIの行程で取り外した後脚を再度取り付けて組立完了です。
- 注…CAD-1410Kに限り、オーバートップは前後どちらの向きにでも取り付けられます。(図2参照)

完成図



※図は、弊社製品 LX-1280 に TX-124 を取り付けた状態。

